

## 論点メモ（案）

**論点1 森林の現状と都市自治体が取組む森林管理の意義****（1）森林管理の現状と課題****①手入れされない森林の要因**

- ・長年にわたる森林の経済的価値の低下（木材価格の低迷、薪炭等の需要減）
- ・人手不足（森林を有する地域の過疎化・高齢化、労働条件の不利）
- ・基盤整備の遅れ（林道整備の遅れ、森林境界や所有者の不明） 等

**②近年の森林・林業に係る状況変化**

- ・林業への追い風（森林資源の蓄積、立木価格の下げ止まり）
- ・働き方としての林業への注目（自伐林業、地域協力隊等）
- ・木材利用の広がり（再生可能エネルギー、CLT、木育）
- ・多様なニーズによる森林整備（里山活動等の都市住民等による森林整備）
- ・法制度の整備（森林経営管理法、木材利用促進法）
- ・森林への社会的な期待（脱炭素、地域振興、生物多様性の保全等） 等

**（2）都市自治体の課題と森林政策の意義・必要性****①都市自治体の現状・課題**

- ・業務量の増大（森林整備計画、森林経営管理制度、施業の監督、補助金等）
- ・人材の不足（職員数、専門知識・技術、地域林政アドバイザー等の使い勝手）
- ・都市自治体内の山村地域と都市部の格差（森林・林業問題の相対的な扱いの小ささ）
- ・森林経営管理制度や森林環境譲与税による都市自治体の森林管理の責任増大
- ・森林環境譲与税の使途と効果（配分の偏り、使途の制限、使途に困る自治体の存在） 等

**②都市自治体による森林政策の意義・必要性**

- ・森林政策とその他の政策課題との関連性（脱炭素、地域振興、防災等）
- ・森林に関わる多様な主体との関係（林家、森林組合、企業、NPO、市民等） 等

**論点2 都市自治体の取組みに関する検討****（1）都市自治体の林政業務体制の構築**

- ・林政業務の共同化、外部化
- ・周辺自治体や都道府県との連携、補完による体制整備
- ・庁内の合意形成、協力体制
- ・森林組合の役割
- ・庁外の連携におけるイニシアティブをとる都市自治体の重要性

## (2) 広域的視点からの森林・林業施策

- ・都市部と山村部の交流、連携
- ・下流域の市民理解の醸成
- ・森林資源活用による経済循環と都市自治体の政策的支援の必要性
- ・森林環境譲与税による連携のあり方（共同事業へ拠出、都市部自治体から森林が多い自治体へ）

## 論点3 都市自治体の森林政策の方向性

- ・森林政策に影響を与える諸条件（地理的社会的な特徴、都道府県との関係等）
- ・地域の実情に応じた関係者間の連携、補完のあり方
- ・都市自治体の各種政策との調整、総合化（観光、環境、防災、産業振興等）